

(57) Utility Model Claim

An inner box device, wherein in an inner box device in which an inner box is formed by indentation in an inner box cover of a vehicle body and a lid member that opens and closes said inner box is installed, a through hole that faces the space inside said inner box cover outside of said inner box is formed at an opening edge portion on one side of the periphery of said inner box, a hinge arm that passes through said through hole and is inserted into said inner box cover is mounted on the rear side of the edge portion on one side of said lid member that covers said opening edge portion, said hinge arm being curved into an approximately U-shape form in the direction of the inner surface portion on the outside of said opening edge portion of said inner box arm, and a hinge receiving member having a pin groove that guides said pin is mounted on said inner surface portion.

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公告

⑫ 実用新案公報(Y2)

平1-39671

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公告 平成1年(1989)11月28日

B 62 J 9/00

G-6862-3D

(全3頁)

⑮ 考案の名称 インナボックス装置

⑯ 実 願 昭59-162277

⑰ 公 開 昭61-78085

⑱ 出 願 昭59(1984)10月29日

⑲ 昭61(1986)5月24日

⑳ 考 案 者 神 田 忠 生 三重県四日市市中町6-3
㉑ 考 案 者 片 岡 照 夫 三重県亀山市木下町463
㉒ 考 案 者 中 島 豊 蔵 三重県鈴鹿市弓削町582
㉓ 考 案 者 倉 田 靖 彦 三重県安芸郡河芸町一色261
㉔ 出 願 人 本田技研工業株式会社 東京都港区南青山2丁目1番1号
㉕ 代 理 人 弁理士 北村 欣一 外2名
審 査 官 山 口 允 彦

1

㉖ 実用新案登録請求の範囲

車体のインナボックスカバーにインナボックスを凹入して形成し、該インナボックスを開閉する蓋部材を設けるものにおいて、該インナボックスの周囲側の開口縁部に該インナボックスの外側の該インナボックスカバー内の空間に臨む透孔を形成し、該開口縁部を覆う該蓋部材の側の縁部裏面に、該透孔を通して該インナボックスカバー内に挿入されるヒンジアームを取付け、該ヒンジアームを該インナボックスカバーの該開口縁部の外側の内面部分に向けて略U字状に屈曲させてその先端にヒンジピンを横設し、該内面部分に該ピンを導くピン溝を有するヒンジ受座部材を取付けたことを特徴とするインナボックス装置。

考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は、主として自動二輪車に適用される物入れ用のインナボックス装置に関する。

(従来技術)

従来、この種の装置として、車体のインナボックスカバーにインナボックスを凹入して形成し、該インナボックスを開閉する蓋部材を設けるものは知られるが、この場合該蓋部材はその側縁に延出したヒンジアームを介してインナボックスカバーに枢着されるを一般としたもので、ヒンジアームが外部に露出して体裁を損う不都合があつ

2

た。

(考案が解決しようとする課題)

本考案はかかる不都合のない装置、即ちヒンジアームが内部に収められて体裁を良好にする装置を得ることをその目的とする。

(課題を解決するための手段)

上記目的を達成すべく、本考案では、車体のインナボックスカバーにインナボックスを凹入して形成し、該インナボックスを開閉する蓋部材を設けるものにおいて、該インナボックスの周囲側の開口縁部に該インナボックスの外側の該インナボックスカバー内の空間に臨む透孔を形成し、該開口縁部を覆う該蓋部材の側の縁部裏面に、該透孔を通して該インナボックスカバー内に挿入されるヒンジアームを取付け、該ヒンジアームを該インナボックスカバーの該開口縁部の外側の内面部分に向けて略U字状に屈曲させてその先端にヒンジピンを横設し、該内面部分に該ピンを導くピン溝を有するヒンジ受座部材を取付けた。

(作用)

ヒンジアームは、蓋部材の側の縁部裏面から該縁部で覆われるインナボックスの開口縁部に形成した透孔を介してインナボックスカバー内に挿入されるため、外部に露出しない。

又、蓋部材の取付けに際しては、ヒンジアームを透孔に挿入してその先端のヒンジピンをピン溝

(2)

実公 平 1-39671

3

4

内に導かせれば良く、蓋部材の着脱が容易になる。

(実施例)

第1図及び第2図を参照して、1は自動2輪車の車体、2は車体の前部に設けるレッグシールドに一体に形成したインナボックスカバーを示し、該カバー2に物入れ用のインナボックス3を凹入して形成し、該ボックス3に下側を支点にして開閉される蓋部材4を施した。

該蓋部材4は、第3図に明示する如く、その下縁部裏面に左右1対のヒンジアーム5、5を備えるも、該下縁部で置かれるインナボックス3の下側の開口縁部3aに左右1対の透孔7、7を形成し、該各ヒンジアーム5を第5図示の如く該各透孔7を通してインナボックス3の外側のインナボックスカバー2内の空間に挿入自在とし、更に該各ヒンジアーム5をその先端が前記開口縁部3aの外側即ち下側のインナボックスカバー2の内面部分に向うように略U字状に屈曲させてその先端にヒンジピン6を横設し、該内面部分に該ピン6を導く第4図示の如き左右1対のピン溝8、8を有するヒンジ受座部材9を左右のヒンジアーム5、5に対応させて左右1対に取付けた。

かくて、蓋部材4はヒンジアーム5において透孔7と、ヒンジピン6においてピン溝8内とを導

かれて、該ピン6においてヒンジ受座部材9に開閉自在に枢支される。

尚、各ピン溝8はその終端にヒンジピン6と係合する窪み10が形成され、又蓋部材4は左右各側のサイドアーム11においてインナボックス3側の透溝12内に係合してその開き位置を規制されるようにした。

(考案の効果)

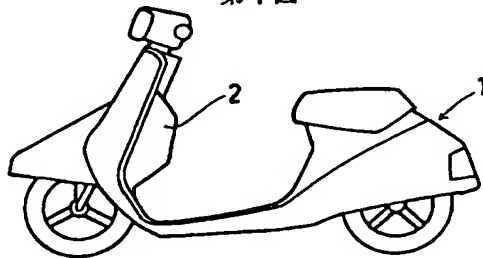
以上の説明から明らかなように、本考案によれば、ヒンジアームが外部に露出せず体裁が良好となり、而もヒンジピンはヒンジ受座部材に形成したピン溝に導かれて該受座部材に挿入されるもので、蓋部材の着脱が容易になり、且つその構成は簡単で廉価に得られる等の効果を有する。

15 図面の簡単な説明

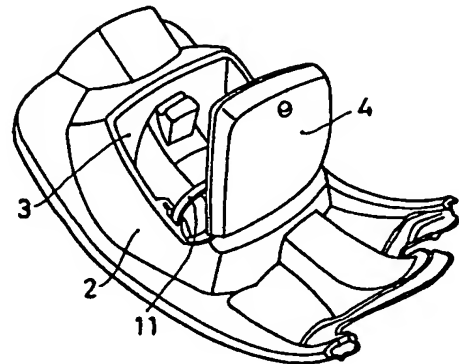
第1図は本案装置を備える自動2輪車の1例の側面図、第2図はその要部の蓋部材を開いた状態の斜面図、第3図はその分解状態斜視図、第4図はその一部の分解斜視図、第5図は要部裁断側面図である。

1……車体、2……インナボックスカバー、3……インナボックス、3a……開口縁部、4……蓋部材、5……ヒンジアーム、6……ヒンジピン、7……透孔、8……ピン溝、9……ヒンジ受座部材。

第1図



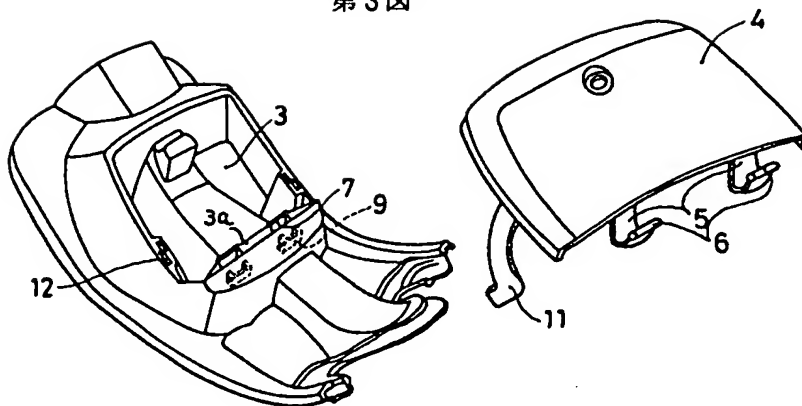
第2図



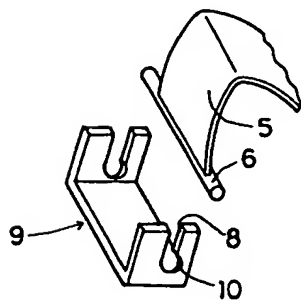
(3)

実公 平 1-39671

第 3 図



第 4 図



第 5 図

